



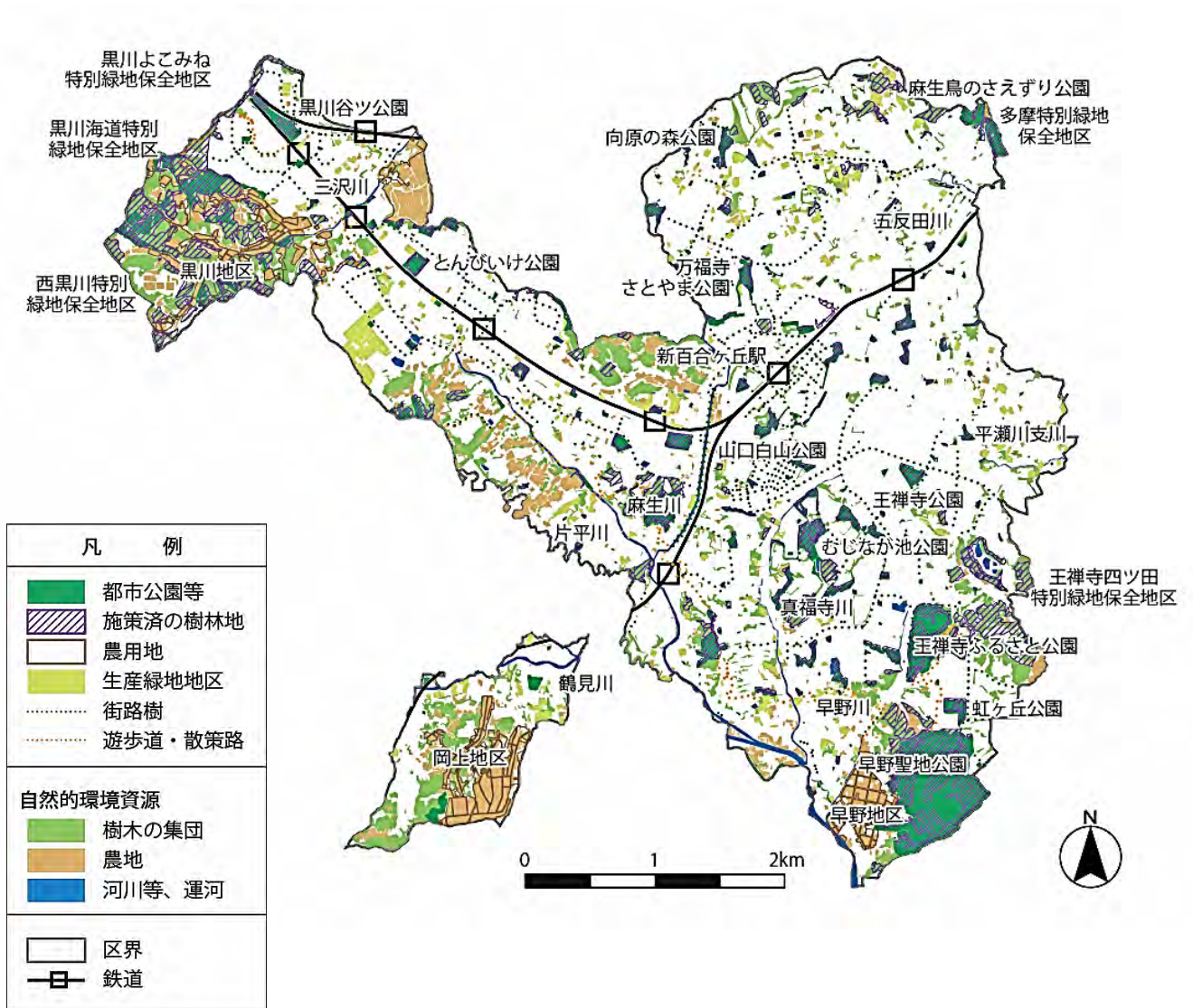
2022 里山フォーラム in 麻生 (第21回)

3月21日(月曜-祝日)
新百合21ホール

—みどりを守る・環境を守る・
いのちをはぐくむ—

主催 里山フォーラム in 麻生・麻生区生涯学習支援課 (麻生市民館)
令和3年度 麻生区地域課題対応事業-麻生里地里山保全推進事業

麻生区の緑の現況



川崎市緑の基本計画（平成3年(2018)年3月発行）

第4章「区別方針」より

プログラム

9:30 受付開始〈ホワイエ〉

検温、手指消毒を済ませ名簿チェック
名札と野菜券を受け取る

会場内の展示見学

「フォーラム資料集21」を置いてある椅子へ着席

10:00 開会

総合司会 石井

■ 柿生の山伏 高橋昂希 先導

● 夏菟太鼓 篠笛演奏、和太鼓演奏

● 来賓挨拶 麻生区長 三瓶清美

■ 第16回 わたしのまちのホッとする風景写真展 今編・昔編
入賞発表

表彰式 麻生区長賞・麻生市民館長賞・里山フォーラム賞

10:20 ■ 基調のお話 「小流域から自然を考える」

堂前雅史 和光大学教授

里山フォーラム in 麻生代表

10:40 ■ 展示団体によるトークリレー（壇上）

「コミュニティを耕し、つなぐ」

—これからの活動に望むことなど—

（各1分から2分30秒以内）

11:45 ● 挨拶 麻生市民館長 野口聡

閉会 みんなでお片付け（会場退出）

◎（ホワイエ）名札を名札入れへ

野菜券で地元農産物交換

山伏と法螺貝

今回は法螺を使う場面についてお話しします。

出羽三山神社で行われる「秋の峰」という年に一度の修行は残念ながら令和2年・3年と連続で中止になってしまいましたが、通常なら毎年8月26日に峰入り（修行の為山に入る事）し、有名な年中行事なので毎年メディア関係者や多くの観光客が整然と進む山伏の隊列を撮影しています。



左は令和2年7月6日の山形新聞に掲載された令和元年の峰入りの写真で、羽黒山にある国宝五重塔の前を通過したところ（一番手前が私）です。

このように一般道を歩く時でも隊列は200m近くになり、更に「山駆け」という道なき道を歩いたり急斜面をよじ登る修行では体力差により先頭から最後尾までが相当離れどんなに大声を出しても連絡を取ることは困難です。しかし、前の方から法螺の音が聞こえたら「大丈夫、私はこの辺にいますよ！」とリレーのように法螺を吹き繋いでいくと自分の現在位置を知らせる事ができます。実際、吹き方には癖というか個性が有るので誰が吹いたのかは結構分るものです。

修行の最後の夜には「八朔祭」という神事が行われ、その中の一つに右写真の火祭りが有ります。ここでは柴燈（燃えている井桁に組まれた部分）を山伏が「火箸」という4mくらいの長いフォークのようなもので四方から4人同時に突く「火箸行事」が行われます。



柴燈を囲む結界の四隅に控える数名の法螺役山伏が一斉に吹き鳴らす法螺の音を合図に、火箸役山伏が4人揃って柴燈を突く所作を交代で何組も続けます。幽玄な山中に燃え上がる壮大な炎と勇壮な法螺の音は修行者の魂を焼き尽くし、翌日生まれ変わって山を下りる修行（疑死再生）の総仕上げのように毎年感じています。

結界（柴燈外周の注連縄）の内側に入れるのは山伏ですが、神事自体は公開されているので見学や撮影は可能ですから機会が有れば是非見に来て下さい。

令和4年3月21日は時間が無く来賓先導だけの予定ですが、来年少し時間が有ればステージで法螺での会話（通信）をご紹介できればと思います。



代表の菅原陽子が、昔の地名「夏菟」^{なつかり}を頂いて命名した夏菟太鼓です。

昭和 53 年に 3 人でスタートしました。子どもから大人まで 50 名の仲間が集う個人運営の和太鼓愛好サークルです。

太鼓を通して人とふれ合い、人間として大切なものを学び、体験の場に自分を放り込み、お互いの良さを認め合い新しい自分を発見することをモットーにしています。地域に根付いた活動や地域を表現する曲を創作することも大切にしています。



長年の活動により、お陰様で下記の賞いただくことができました。

- 1993 年 多麻地域文化賞 (多 - 多摩区・麻 - 麻生区を表す)
- 2004 年 市民文化 パートナーシップかわさき 顕彰受賞
- 2009 年 駒澤大学児童教育部同窓会 自彊賞受賞

夏菟太鼓の代表的な曲に「巻狩り太鼓」^{まきが たいこ}があります。この曲は源頼朝が地元の山で巻狩りをしたことを表現したオリジナル曲です。

本日の演目


- 1、 篠笛演奏「ふるさとは今もかわらず」 作詞作曲 新沼謙治
- 2、 和太鼓演奏「巻狩り太鼓」 夏菟太鼓オリジナル曲

出演

すがわらようこ ひしだ まき
菅原 陽子、菱田 まき
もりたようこ あらい さよこ
森田 暢子、新井 小夜子
かがみゆうき かがみゆうき
加々見 有紀、加々見 友希
ふじもと まき
藤本 真紀

ごあいさつ.....

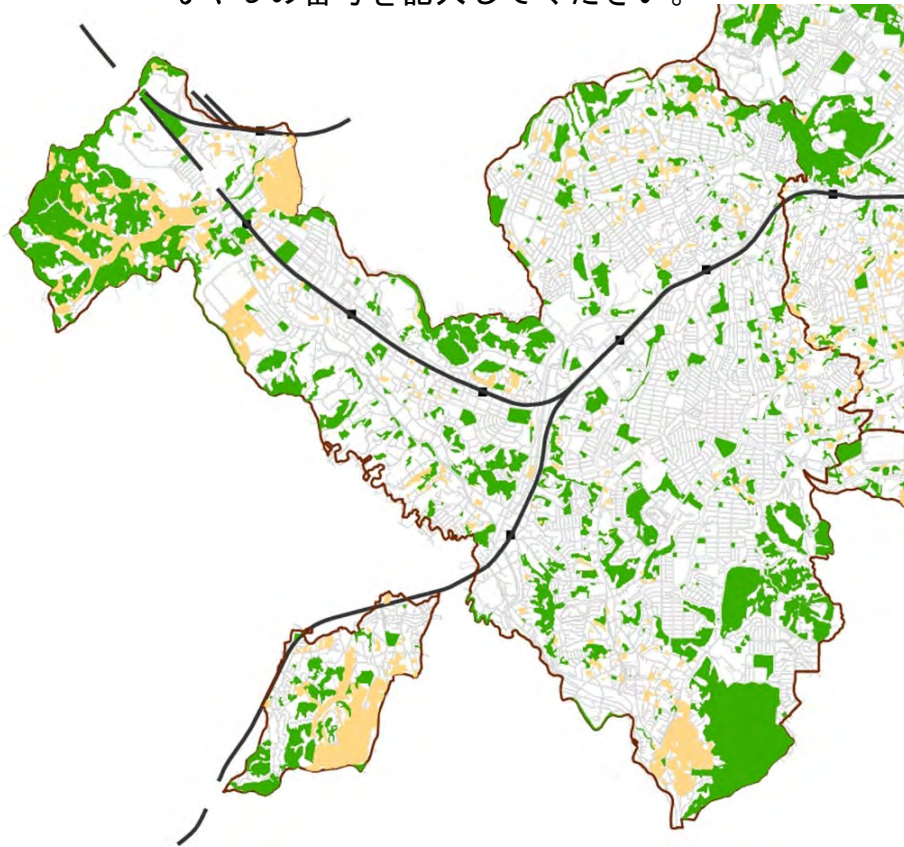
夏菟太鼓では、太鼓の演奏を通して人間としての生きる力を貯えることを大事に考えています。人との関わり合いがいかに楽しいものか、心の底から念じていれば思いは必ず実現するという、努力は光ること、親子の付き合いにも節度があること、等々をいっぱい感じたいです。そしてこれからもそんな気持ちをメンバーと大いに語り合いたく思っています。



夏菟太鼓代表 菅原陽子

麻生区の緑のマップに
活動場所や施設の場所を書き込んでみましょう！

もくじの番号を記入してください。



〔流域ごとの参加団体一覧表(資料集参加含)〕

多摩川流域

三沢川流域 (主に黒川地区)

- * 小沢城址里山の会
- * 黒川里楽塾
- * 黒川青少年野外活動センター
- * はるひ野里山学校
- * 水辺のある里山を守る会

五反田川流域

- * 麻生多摩美の森の会
- * 多摩美みどりの会
- * 麻生プレーパークを創る会

平瀬川流域

- * 長沢花みずき会
- * はぐるま工房

鶴見川流域

麻生川流域

- * あさお生きごみ隊
- * 柿生の里クラブ
- * まちはミュージアム-
遊歩道ファンクラブ
- * 森もりクラブ

黒須田川流域

- * 虹ヶ丘おやじの会

真福寺川流域

- * 花と市民参加の会“コスモス”
- * 吹込クローバーの会

早野川流域

- * があでん・ららら
- * 早野聖地公園 里山ボランティア

鶴見川本川流域 (岡上地区)

- * 麻生市民館 岡上分館
- * 岡上に親しむ会 (岡上郷土誌会)
- * NPO かわさき自然と共生の会
- * 和光大学・かわ道楽
- * 和光大学地域連携研究センター

(特定の場所に限らない団体)

- * 麻生区子ども会連合会
- * 麻生区クールアース推進委員会
- * 麻生ヤマユリ植栽普及会
- * かわさきかえるプロジェクト
- * 環境を考え行動する会
- * グループ「せっけんの家」
- * ふらっと新百合ヶ丘
- * 万福寺人參友の会
- * かながわトラストみどり財団
- * 川崎市環境局総務部企画課

もくじ

番号	団体名 (その1)	ページ	番号	団体名 (その2)	ページ
1	麻生多摩美の森の会	4, 5	20	はぐるま工房	29
2	麻生プレーパークを創る会	6	21	虹ヶ丘おやじの会	30, 31
3	あさお生きごみ隊	7	22	花と市民参加の会“コスモス”	32, 33
4	麻生区クールアース推進委員会	8, 9	23	早野聖地公園里山ボランティア	34, 35
5	麻生ヤマユリ植栽普及会	10	24	はるひ野里山学校	36, 37
6	麻生区子ども会連合会	11	25	吹込クローバーの会	38
7	小沢城址里山の会	12	26	ふらつと新百合ヶ丘	39
8	岡上郷土誌資料コーナー・ 岡上に親しむ会	13	27	まちはミュージアム・ 遊歩道ファンクラブ	40, 41
9	麻生市民館 岡上分館	14, 15	28	万福寺人參友の会	42, 43
10	があでん・ららら	16	29	水辺のある里山を守る会	44, 45
11	NPO かわさき自然と共生の会	17	30	森もりクラブ	46, 47
12	柿生の里クラブ	18, 19	31	和光大学・かわ道楽	48
13	環境を考え行動する会	20	32	和光大学 地域・流域共生研究センター	49
14	川崎黒川青少年野外活動センター	21	33	川崎市環境局環境調整課	50
15	かわさきかえるプロジェクト	22, 23	34	かながわトラストみどり財団	51
16	グループ「せっけんの家」	24, 25	35	里山フォーラムin麻生から	52
17	黒川 里楽塾	26		わたしのまちのホッと する 風景写真展 入賞者一覧	
18	多摩美みどりの会	27		川崎市建設緑政局総務部企画課	
19	長沢花みずき会	28		東柿生小学校6年生の里山学習	